



町は、新町地区に災害公営住宅20戸、公営住宅30戸を建設しています。災害公営住宅は10月下旬、公営住宅は11月に完成し、被災者の恒久的住宅を確保します。隣接する福祉施設も12月に完成する予定です。

北海道胆振東部地震から2年
町民と共に輝くマチを

平成30年9月6日3時7分、道内で初めて観測した最大震度7の北海道胆振東部地震。実り多きマチの景色を一変させました。恐怖、絶望、悲しみ…。未だに癒えない傷と向き合いながら、試練を少しずつ乗り越えようとしています。消してはならない震災の記憶と犠牲者37名の遺志を胸に歩みを進めています。

郷土愛にあふれる町民、全国の心強い応援団。「人」という財産が、町の復興の原動力になります。

あの日から2年。町のいまを特集します。



土砂崩落で被災した富里浄水場が完成しました。円柱形の配水池に「配水池階段室」を再建し、取水施設なども復旧しました。7月31日から全町に給水を開始。北海道の急傾斜地崩落対策によって安全は確保され、斜面に緑が戻り始めました。

ひとのうごき

令和2年8月31日現在 ()内は前月比

人口 4,446人 (-1)
男 2,220人 女 2,226人

世帯数 2,103世帯 (-1)

8月1日～31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

広報あつま

2020年 9月号
令和2年

もくじ CONTENTS

- 2 ひとのうごき
- 3-7 北海道胆振東部地震から2年
災害復旧事業／災害公営住宅／富里浄水場
- 8 胆振東部地震復旧・復興通信
- 9 防災のページ
- 10-11 新型コロナウイルス感染症関連支援
- 12-14 お知らせ
- 15 気象台ノート
- 16-17 まちの話題
- 18 地域おこし協力隊／将来の夢
- 19 厚高インフォメーション／短歌／まちのアイドル
- 20-21 保健の掲示板／子育て支援センター
- 22 健康情報
- 23 情報ひろば
- 24 ATSUMA LOVERS

今月の表紙 COVER



胆振東部地震から、2回目の出来秋を迎えます。生育は順調で、震災復興に立ち向かう生産者の姿勢が、作物に映し出されています。

水田には、粒ぞろいの稲が、たわわに実っています。間もなく小金色に染まります。朝日地区の水田では、日の出と共に朝露が輝き始めました。非常に小さな水滴ですが、無数に広がる光が「人」と重なり、明日の厚真を連想させました。

「広報あつま」はホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.atsuma.lg.jp/office/>

広報あつまの電子書籍はこちらから。
www.hokkaido-books.jp

北海道内のすべてがそろった「電子書籍」ポータルサイト「ホッカイドウ イーブックス」

Hokkaido e-books

ホッカイドウ イーブックス実行委員会(株式会社 須田製版 内) Tel.011-621-1000(代表)



災害復旧事業

道路や橋りょうや河川など復旧事業の整備状況は、道の91カ所、町の145カ所とも事業に着手し、7月末現在で8割強が完了しました。また、道の砂防・急傾斜対策事業は、対象12カ所が今年度内に完成する予定です。林道では、道が管轄する5カ所すべてが完了、町が管轄する19カ所のうち14カ所が完了し、残る5カ所は来年度中に整備を終える予定です。また、道の治山事業は、令和5年度にかけて142カ所を整備する予定で、既に9割強の事業に着手しています。

農業関連では、農地の堆積土砂などが撤去されて復旧。日高幌内川上流部の天然ダム解消のため、土砂などを仮置きしている約40畝の農地を除き、営農が再開できるようにになりました。



災害関連緊急治山事業が進む吉野地区

工事が進む砂防えん堤
左：日高幌内川（幌内）
右：東和川（東和）



国直轄の砂防事業は、幌内・幌里・桜丘・東和の4地区で行われています。日高幌内川、チケツペ川、チカエツプ川、東和川の4渓流で、砂防えん堤のかさ上げなど恒久対策の工事や用地買収が進められ、令和5年度の完成を目指しています。

町は、災害公営住宅32戸、公営住宅46戸を整備しています。このうち、災害公営住宅は、上厚真あかり団地4戸（2LDK）、新町のぞみ団地20戸（2LDK・3LDK）、本郷きずな団地8戸（2LDK）で、9月末から10月下旬にかけて完成する予定です。

住民の要望を反映して室内をパリアフリーにしたほか、温水式の床下暖房を完備。また、災害時の個別復旧が早いプロパンガスを設置、自動車などから受電できるよ

うに非常用の外部入力コンセントも全戸に配置しました。シックハウス対策も講じられ、遮音効果も高められています。

一方、2階建ての公営住宅は、2LDKと3LDKの2タイプあり、上厚真地区16戸、新町地区30戸で建設が進められ、10月末に完成する予定です。

7月末現在の応急仮設住宅などの入居状況は、みなし仮設住宅やトレーラーハウスを含め105世帯232人におよびます。



完成間近の上厚真あかり団地
上：床暖房が完備された室内
下：明るい木調の外観

災害公営住宅

インタビュー

着実に復興を進める基幹産業 農業



J Aとまこまい広域農協
代表理事専務 堀弘幸さん

「地震から2度目の秋を迎えます」

主力の米ですが、地震の揺れで水田に生じた凹凸の「不陸」は、今冬の地ならしで均一化を図りました。均等に水が張れないと、作物の生育にバラつきがでます。冬の努力の甲斐があって、生育は順調です。

「復旧・復興が進む基幹産業の原動力とは」

最も大きな要因は、生産者の「心」でしょう。長く暮らしていると、水害も経験している、生産者にはいかなる場合でも対応できるという自信

があります。互いに助け合う力、団結力は強い。「開拓者魂」というか、「この程度でくじけたら、ゼロから開拓した先人に怒られる」という不屈の精神が、原動力だと思います。

「今後の見通しは」

今後は、さらに効率的な農業が求められます。6月着工の厚真地区農産物集出荷貯蔵施設（上野地区）は、物流拠点に整備します。米などを一時的に低温保存して品質を保ち、広く需要に応えます。また、昭和30年代に建てられたレンガ倉庫1棟を来年復元します。産業遺産のような建物で、歴史を刻むシンボルにしたいと考えています。厚真は、南北に長い町。南部は涼しく、北部は温かいので、気温差を利用して計画的に収穫期がずらせます。合理的な土地利用と生産性の向上が課題です。

質の高い福祉サービスの提供に全力



北海道厚真福祉会
理事長 岩筋雅弘さん

「現在、建設中の新たな施設について教えてください」

建物は、鉄筋コンクリート造り地下1階地上2階建て延べ約6100㎡で、特別養護老人ホーム豊厚園と厚真リハビリセンター、あつまみデイサービスセンターの3施設です。定員は、豊厚園80人、厚真リハビリセンター50人、あつまみデイサービスセンター18人です。豊厚園と厚真リハビリセンターは、短期入所も可能です。

「現在の進捗よく状況は」

当初、新型コロナウイルス感染症の影響で、建設資材不足も懸念されましたが、ほとんど影響はなく、8月末時点で、工事の進捗率は約

50%で、予定通りです。引越しのめどはどうか

12月中旬の建物引き渡し後、速やかに開始し、年内には引越しを完了したいと考えています。現在の福祉仮設住宅に隣接して建てていますから、引越しに伴う利用者の身体的・精神的負担をできるだけ少なくしたいと考えています。

「今後の抱負をお聞かせください」

胆振東部地震で施設は全壊しましたが、国や道、町をはじめ多くの皆さまのさまざまな支援によって、昨年、新施設の建設に着手することができました。

完成後は、要介護度の高い高齢者や重度の身体障がい者が、安心・安全で快適な日常生活を送れるよう、従業員一人ひとりが提供できるように、全力で取り組んで参ります。



北部山間地域は、土砂災害を伴った震災に遭いました。裏山が

厚真町長 宮坂尚市朗

胆振東部地震から2年の歳月が流れる中、犠牲となられた皆さんのことは、町民の皆さまと等しく、ひと時たりとも脳裏を離れません。今なお、尽きることのない悲しみが胸にこみ上げて参ります。犠牲になられた37名の皆様に衷心より哀悼の誠を捧げます。

私たちは、先達から引き継ぎ、皆さんが愛した厚真町の輝きを取り戻すべく、町民一丸となって懸命に復旧・復興という長く険しい道のりを歩み始めています。一人も取り残されることのないよう、お互いを気遣いながら穏やかな日常を取り戻し、生業の復興を果たすため、たゆまぬ努力を続けていきます。

崩落し、全機能が停止した富里の統合浄水場は、その典型例として全国から注目されましたが、北海道をはじめとした多くの関係機関のご尽力もあり、発生から2年弱の7月31日から町内の全区域に給水を再開しました。一方、いまだ多くの方が仮設住宅や被災住宅などでご不便な生活を余儀なくされています。

まだ多くの課題は残されており、但し、本年度中に第3期厚真町復旧復興計画を策定します。全ての世代と力を合わせて町再生という新しい歴史を丁寧につづって参ります。悲しいまちで終わらせないと、決意を新たにしています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



富里浄水場



胆振東部地震による裏山の崩落で、浄水用の沈殿施設やパイプなどが影響を受けた富里浄水場が、7月31日から、全町への給水を開始しました。

建物本体に大きな影響はありませんでしたが、浄水用の沈殿施設や自家発電機が使えなくなったほか、配水管や導水管に120カ所



上：円柱形の配水池と直方体の階段室
下：完成した浄水場

を超える亀裂や断裂が生まれました。復旧工事では、円柱形の配水池と配水池に隣接して新設した直方体の「配水池階段室」（高さ約20m）など施設を整備したほか、流出した土砂などを戻して敷地内を整備しました。また、同時進行で、道が崩落斜面に擁壁などの防護策を施して安全対策を強化しました。

富里浄水場の復旧工事は、約5億2900万円。内訳は、浄水場等復旧工事約5億700万円、取水施設約2200万円。また、配水管や厚幌ダム災害復旧負担金などの応急復旧費を含めると、総事業費は約8億1300万円になります。

あなたにとっての愛すべき厚真を共有しませんか

ATSUMA LOVERS

胆振東部地震で環境は大きく変わりましたが、発災前と変わらず厚真町を愛する人、発災後から厚真町を知って愛した人、多くの「ATSUMA LOVERS (アツマラバーズ)」が今の厚真町を作っています。

ATSUMA LOVERSが見る今や、その想い、愛することを共有しませんか。

SNSアカウントで共有

1. 厚真町公式SNSアカウントをフォロー

- フェイスブック @atsumatownhokkaido
- インスタグラム atsumalovers

2. ハッシュタグをつけて投稿

ハッシュタグ #atsumalovers をつけてインスタグラムまたはフェイスブックに投稿してください。

紙に書いて共有

次の特設コーナーに自由に書き込む

- 〔設置場所〕
- ・厚真町役場 ・総合ケアセンターゆくり
 - ・青少年センター ・厚真町スポーツセンター
 - ・こぶしの湯あつま ・まちなか交流館しゃべーる
 - ・厚南会館 ・災害ボランティアセンター

〔設置期間〕 10月18日(日)まで

問い合わせ まちづくり推進課 企画調整グループ ☎27-3179

主なできごと

令和元年9月

| | | |
|------|-------------------|---|
| 令和元年 | 9月 6日(金) | 正午のサイレンに合わせて黙とう |
| | 7日(土) | 令和元年北海道胆振東部地震厚真町追悼式 |
| | 10月 2日(水) | NPO法人コメリ災害対策センターと物資供給協定締結 |
| 令和2年 | 27日(日) | 平成30年北海道胆振東部地震を振り返り 今後の減災・復興を考えるシンポジウム |
| | 11月 1日(金) | 町復旧・復興計画第1期策定 |
| | 16日(土) | 第2回あつま復興未来会議 |
| 令和2年 | 12月 18日(水) | 厚真福祉会3施設 移転改築工事地鎮祭 |
| | 1月 下旬 | 災害公営住宅の事業着手(上厚真・本郷・新町の3地区) |
| | 3月 24日(日) | 東京2020オリンピック・パラリンピックの延期決定に伴い 6月15日(月)に町内で実施予定の聖火リレーも延期が決定 |
| | 3月 31日(火) | 胆振東部地震の公費解体完了 |
| | 4月 上旬 | 被災者向け公営住宅の事業着手(上厚真・厚真両地区) |
| | 6月 15日(月) | 宅地耐震化推進事業で新町地区の工事開始 |
| | 23日(火) | 任期満了に伴う町長選挙で、宮坂氏が無投票で4期目当選 |
| | 7月 10日(金) | 宅地耐震化推進事業で豊沢地区の工事開始 |
| | 7月 31日(金) | 富里浄水場から、全町への給水を開始 |
| | 9月 5日(土) 6日(日) | 胆振東部地震厚真町追悼式 |